

令和3年度 事業調査結果A スポーツ分野(令和2年度実施事業)

参考資料 1

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査結果Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。 (1) アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業 (2) 「文の京」総合戦略の計画事業のうち、主要課題が「文化資源を活用した文化芸術の振興」 「誰もが観光に訪れたいくなるまちの環境整備」「都市交流の促進」「図書館機能の向上」 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進とレガシーの継承」に該当する事業 (3) 令和2年度の重点施策事業のうち、「活力と魅力あふれるまちの創造」「文化的で豊かな共生社会の実現」に該当し、アカデミー推進計画の5分野に関係する事業 ※それ以外の事業は「令和3年度 事業調査結果B スポーツ分野」に掲載されています。

スポーツ (所管課)		
【分野別目標1】 スポーツを身近に感じる機会の拡充		
1	初心者向けスポーツ教室	スポーツ振興課
2	小・中学生向けスポーツ教室	スポーツ振興課
3	親子向けスポーツ教室	スポーツ振興課
4	スポーツの日事業	スポーツ振興課
5	東京2020大会 気運醸成イベント	スポーツ振興課
6	オリンピック・パラリンピックこども新聞	スポーツ振興課
7	聖火リレーがやってくる！～未来を照らす、心をつなぐ「文の京」トーチプロジェクト～	スポーツ振興課
8	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会記念「レガシー補助金」	スポーツ振興課
9	スポーツ・パブリックビューイング	スポーツ振興課
10	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	スポーツ振興課
11	文京LBレディース支援事業	スポーツ振興課
12	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツ振興課
13	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	スポーツ振興課
【分野別目標2】 いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進		
14	地域スポーツ団体の支援・育成	スポーツ振興課
15	個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	スポーツ振興課
16	各種区民スポーツ大会等の開催	スポーツ振興課
17	文京区表彰要綱に基づく顕彰事業	スポーツ振興課
18	アウトドアスポーツ事業	スポーツ振興課
19	ジュニア・アスリート育成事業	スポーツ振興課
20	シニア向けスポーツ教室	スポーツ振興課
21	着衣泳講習会	スポーツ振興課
22	スポーツ指導者地域派遣	スポーツ振興課
23	スポ・レクひろば	スポーツ振興課
24	障害者のスポーツ施設利用促進事業	スポーツ振興課
25	障害者スポーツ体験教室	スポーツ振興課
26	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ振興課
【分野別目標3】 スポーツ活動を支える環境の整備		
27	スポーツ施設の整備と活用促進	スポーツ振興課
28	六義公園運動場管理棟等の改築	スポーツ振興課
29	小石川運動場ベンチシート等整備	スポーツ振興課
30	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開故事業	スポーツ振興課
31	学校施設の活用	スポーツ振興課/学務課
32	スポーツ交流ひろばの充実	スポーツ振興課
33	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ振興課
34	スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	スポーツ振興課

【分野別目標3】 スポーツ活動を支える環境の整備		
35	スポーツ指導者の育成	スポーツ振興課
36	スポーツ指導者派遣	スポーツ振興課
37	スポーツボランティアの養成	スポーツ振興課
38	スポーツボランティア情報の発信	スポーツ振興課
39	スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ振興課
40	地域スポーツ情報の提供	スポーツ振興課
41	各種メディアとの連携推進	スポーツ振興課
【分野別目標4】 スポーツを通じた仲間づくりと交流		
42(再掲)	社会教育関係団体登録制度による活動支援	スポーツ振興課/アカデミー推進課
43(再掲)	スポーツ交流ひろばの充実	スポーツ振興課
44(再掲)	スポーツボランティアの養成	スポーツ振興課
45	カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	スポーツ振興課
46(再掲)	親子向けスポーツ教室	スポーツ振興課
47	ニュースポーツ教室・大会	スポーツ振興課

調査結果Aの記載内容について

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
 - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「総合戦略事業番号」
 - ・「「文の京」総合戦略」の計画事業の事業番号
- 「事業名」
 - ・事業名
- 「事業概要」
 - ・事業概要
- 「事業費」
 - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
 - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
 - 実績数：実際の参加者数、発行部数等
 - 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」
 - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「事業実施内容」
 - ・令和2年度事業の実施状況
- 「成果」
 - ・事業で得られた成果
- 「課題」
 - ・不十分だった点や改善すべき点
- 「課題解決に向けた取組」
 - ・課題解決に向けた今後の事業の取組
- 「担当課」
 - ・事業を担当する課

令和3年度 事業調査結果A スポーツ分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標1】 スポーツを身近に感じる機会の拡充

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 スポーツの楽しさを知る機会の創出														
1	28		初心者向けスポーツ教室	区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催する。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実績なし(総合体育館) ・合気道:10月及び11月、全6回実施(総合体育館) ・弓道:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実績なし(スポーツセンター)	新型コロナウイルス感染症防止対策により、3教室中2教室が中止となった。	新型コロナウイルス感染症の影響か、教室が実施できた場合についても応募数が少なかった。	感染所防止対策をさらに徹底し、安心して参加することができる教室を提供する。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	32人						
							申込数	12人						
2	28		小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、スキー、ローラーズスポーツ等のスポーツ教室を開催する。	予算	417	当初予定数(定員等)	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし	—	団体の高齢や課事業の固着化防止のため、既存事業の改廃とあわせ、新種目の実施の検討が必要である。	文京区体育協会をはじめ区内各種スポーツ団体と調整する。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—						
							申込数	—						
3	28		親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子で気軽に参加することができるスポーツ教室を開催する。	予算	437	当初予定数(定員等)	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし	—	コロナ禍における安全な事業の実施方法を検討する必要がある。	委託先である団体と協議を重ね、参加者が安全安心して取組める方法を模索する。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—						
							申込数	—						
4	28		スポーツの日事業	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、体育の日事業を開催する。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	東京2020オリンピック・パラピック競技大会開会式(予定)との重複を避け、11月3日に実施した。新型コロナウイルス感染症対策の一環で、例年よりも規模を縮小し、感染予防対策を並行した上で、屋外施設での自由開放をメインの開催であった。 イベント事業では、エリックワイナイナ氏を講師に招いてのランニング教室や、ジャイアンツアカデミーの野球教室、ヨネックス所属選手によるソフトテニス教室を行った。 上記以外にも様々な教室を行い、スポーツ施設無料開放を実施した。	令和2年度は2,197人来場した。昨年度の3,507人と比較した場合、約1,400人の減少であるが、縮小しての開催であったため、予想以上の来場者数であった。	屋内施設でのイベントを行うにあたって、感染状況と照らし合わせて、さらに徹底した感染防止対策を実施する必要がある。	より効果的な感染防止対策と並行して、屋内施設でイベントを実施できる方法を模索する。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	2,197人						
							申込数	2,197人						
5	133		東京2020大会気運醸成イベント	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、シンポジウムや講演会、区民が参加できる体験イベントや企画展などを開催し、大会への気運醸成及び競技等への理解促進を図る。	予算	6,186	当初予定数(定員等)	—	—	花の五大まつり等、事業を展開する場が軒並み新型コロナウイルスの影響でなくなり、気運醸成イベントの開催が困難となった。	新型コロナウイルス感染拡大により、大会の気運を高めるためのイベントが実施できなかった。代替措置として、庁舎の壁面等に大会公式マスコットの装飾の実施や、庁内に大会公式ロゴのフラッグを掲出し、気運醸成を図った。	コロナ禍の中で大会開催への先行きに不透明な部分がある中、気運をどのように高めていくかが大きな課題となっている。	カウントダウンイベントで公式バナーや聖火リレーパネルといった大会関連物品の展示を行い、直前の気運を盛り上げる。	スポーツ振興課
					決算	1,263	実績数	—						
							申込数	—						
6	133		オリンピック・パラリンピックこども新聞	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点からこどもたちが感じ学んだことを紙面を通じて伝える。	予算	6,777	当初予定数(定員等)	—	—	コロナ禍の中、オンラインによる取材を実施し、新たな取材の方法で記事を制作した。緊急事態宣言が明けた時期には、指定管理者実施事業にこども記者を呼び、事業に参加しながら、講師のエリック・ワイナイナ氏へ対面での取材を実施した。	ホストタウン事業であるドイツ語講座の講師に取材を行い、スポーツのみならず、文化・国際交流の面から紙面の作成に取り組んだ。4面構成のこども新聞を年度内に2回発行した。	緊急事態宣言下で、学校の校外活動が制限される中では、外部の取材への引率が困難であり、取材先の確保が思うようにできなかった。	オンラインを活用した取材の実施や、ホストタウン事業との連携を強化し、取材を通じて大会後もレガシーとして、こども記者が国際理解などをより深めていけるような取組を進める必要がある。	スポーツ振興課
					決算	3,965	実績数	78人						
							申込数	—						

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
					予算	決算	当初予定数(定員等)	実績数							申込数
7			聖火リレーがやってくる!~未来を照らす、心をつなぐ「文の京」トーチプロジェクト~	東京2020大会に関し、本区での聖火リレー当日(2020年7月21日)において、ゴール地点でのミニセレブレーションや、区の魅力を発信する事後イベントを開催するほか、沿道や会場等での聖火リレーボランティアを実施するなど、文京区一丸となって東京2020大会を盛り上げる。	予算	1,980	当初予定数(定員等)	—	—	—	2021年の大会開催に向けて、大会関連事業に従事する文の京2020ボランティアの特設募集サイトを作成、募集を実施した。	3月31日までの募集を第1期とし、1期で約450名の応募があった。	大会従事ボランティアの確保と、コロナ禍の中での大会実施に向けて、大会組織委員会や東京都等の関係機関と連携を図り、感染症対策を踏まえた事業計画の実施が求められる。	ボランティアの募集を継続し、人員配置計画に基づく割り当てが実現できるようにしていく。直前となった大会開催に向けて、状況を見ながら着実に準備を進めていく。	スポーツ振興課
					決算	560	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
8			東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会記念「レガシー補助金」	花の五大まつり等で行われる東京2020大会の記念事業のうち、大会終了後も、まつりの発展と地域活性化につながる新たな取組に対し助成を行い、大会終了後のレガシーにつなげる。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	—	実績なし	—	—	—	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
【基本的な方向性(2)】 スポーツ観戦の場と機会の拡充															
9	29		スポーツ・パブリックビューイング	区民ひろばやシビックホールなどで、ワールドカップやオリンピック・パラリンピックなどのパブリックビューイングを開催し、皆で観戦する楽しさを共有する。	予算	1,290	当初予定数(定員等)	—	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし	—	コロナ禍での安心安全な実施方法と対象種目の検討が必要である。	庁舎以外での実施について、区内企業や施設保有者と調整する。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
10	29		読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	読売巨人軍との協定に基づき、観戦事業のほか、選手との触れ合いの場や走り方・投げ方教室等の各種事業を展開する。	予算	564	当初予定数(定員等)	120組	—	—	(1) 小学生ボール投げ&走り方教室 実施日: ① 前期コース(9/19(土)及び26(土) 全2回) ② 後期コース(10/3(土)及び10(土) 全2回) 区分: ・小学1・2年生親子の部 ・小学3・4年生親子の部 定員: ① 前期コース 各部30組 ② 後期コース 各部30組 実績: ① 前期コース 39組 ② 後期コース 36組 (2) 読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実績なし	読売巨人軍と綿密に連携し、新型コロナウイルス感染症の対策を徹底することで、コロナ禍でも継続して教室事業を展開できた。また、このことにより、親子でスポーツに親しみ、「する」機会を提供することができた。	試合を観る、体験する等の読売巨人軍との交流イベントが実現できず、「観る」スポーツの観点から区民のスポーツとの接点を持たせることができなかった。	読売巨人軍とコミュニケーションを図り、コロナ禍で安全安心に実現できるイベントを模索する。	スポーツ振興課
					決算	458	実績数	75組	62.5%						
							申込数	93組	77.5%						
11	29		文京LBレディース支援事業	地域の大学や企業との連携により設立した女子サッカーチーム「文京LBレディース」の活動を支援し、区民等が身近なチームの試合観戦を通じて、地域で応援できる環境を整える。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	—	コロナにより実績なし	—	コロナ禍での観戦機会の提供や区主催イベントへの参加など、安心安全な事業展開が必要である。	区民への広い周知の工夫とチームとの連携を密にする。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課
【基本的な方向性(3)】 プロスポーツ等団体との連携・協力														
12	30		日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開する。	予算 200	当初予定数(定員等)	90人	—	—	※実施の準備を進めたが結果的に中止 日本サッカー協会から西川誠太氏を招き、ジュニアサッカー教室を開催 実施日:12月12日(土) 場所:小石川運動場 対象:区内在住、在学の小学3~6年生 定員:90人 申込数:70人 実績:0人	コロナ禍においても多くの参加希望があり、事業への興味の高さを知ることができた。	日本サッカー協会が拠点を置く本区の特徴を活かし、継続的に事業を展開するとともに、コロナ禍での事業開催方法を検討していく必要がある。	日本サッカー協会、文京区少年サッカー連盟等と連携して、コロナ禍での安全な事業を展開する。	スポーツ振興課
					決算 2	実績数	0人	0.0%						
						申込数	70人	77.8%						
13	30		地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	区内に拠点を置くプロスポーツ団体・企業・大学等との協働により、各種スポーツの体験教室及びスポーツ観戦事業を実施する。	予算 5,928	当初予定数(定員等)	—	—	—	(1)(株)読売巨人軍 ・小学生ボール投げ&走り方教室 整理No10(1)のとおり (2)(一社)CLUB LB & BRB ・親子フットサル教室 実施日:①11/28(土)、②12/5(土) 対象: 4歳以上の未就学児及び小学1から3年生とその保護者 定員:各日24組 実績:①23組、②21組 (3)トヨタ自動車(株) ・ランニングクリニック動画の制作及び配信 ①初心者向け~ランニングを始めよう~ ②中上級者向け~レベルアップを目指すランナーへ~ (4)(株)東京ドームスポーツ ・自宅でできるエクササイズ動画の配信 ①自宅でチェアエクササイズ ②ウエストスッキリ編 ③腰まわりスッキリ編 ④背骨スッキリ編 ⑤からだスッキリ体操 ⑥みるみる変わる全身かんたん体操 ⑦肩こり撃退体操 ⑧寝ながらスッキリ体操 ※実施の準備を進めたが結果的に中止となった事業 (5)文化シヤッター(株) ・アルティメット大会&フライングディスク教室 11/29(土) (6)(公財)日本サッカー協会 ・ジュニアサッカー教室 12/12(土) (7)トヨタアルバルク東京(株) ・アルバルク東京による初めてのバスケットボール教室 1/30(土)	実地でのリアルイベントとオンラインを活用した動画配信を組み合わせることで、コロナ禍においても区民が身近な場所でスポーツ活動を継続する環境を提供することができた。	協働団体と連携し、コロナ禍においても、安全安心に参加できるスポーツ事業を安定的に実施することが必要である。	実地イベントとオンライン動画配信等それぞれの特徴を活かし、区民のニーズにあった事業を協働団体と連携して企画・実施する。	スポーツ振興課
					決算 1,392	実績数	4団体	—	—					
						申込数	—	—						

令和3年度 事業調査結果A スポーツ分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標2】 いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 スポーツを楽しむ人を増やす														
14	31		地域スポーツ団体の支援・育成	各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	○派遣件数:22単位 ・スポーツ推進委員:3単位 ・スポーツリーダー:19単位 ※派遣回数:1団体につき年間で4単位まで(1単位2~3時間程度)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、申請数は減少した。	申請の少ない種目の派遣増加につなげる為、周知の仕方を検討するとともに、新種目の増設も視野に入れる。	HP・SNSなど、有効的な周知方法を検討する。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	22 単位						
							申込数	22 単位						
15	31		個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	水泳、卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で一般公開を実施した。	令和2年度は、スポーツセンター:延べ9,571人 総合体育館:延べ5,937人 江戸川橋体育館:延べ3,711人が利用した。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館していた期間が昨年度に比べ多かった、そのため、全施設で利用者が減少しており、総合体育館については約半数の利用人数であった。	人気種目については、コロナ禍においても、一定数の参加者がいる。そのため、参加者間の感染を防ぐために、感染症拡大防止対策を徹底する必要がある。	入館前の検温とチェックシートにより体調を管理し、また、参加人数の制限を行い、参加者間での感染拡大を防止する。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	19,219 人						
							申込数	—						
16	31		各種区民スポーツ大会等の開催	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会の場合として、各種区民スポーツ大会を開催する。	予算	7,526	当初予定数(定員等)	—	—	文京区体育協会加盟団体:33団体 区民大会参加者数:延3,429人 都民大会派遣人数:延23人 スポーツ少年団交流事業:中止	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会が中止となり区民大会数は13大会(33大会中)	コロナ禍での区民大会の開催方法の検討が必要である。	引き続き、文京区体育協会事務局と連携し、安心安全な事業運営を模索していく。	スポーツ振興課
					決算	3,132	実績数	3,452 人						
							申込数	—						
17	31		文京区表彰要綱に基づく顕彰事業	スポーツの分野で、全国規模の大会等において、優秀な成績や優れた功績があった区内の選手・団体に対し、表彰する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	アルバルク東京Bリーグ2019-2020シーズン閉幕報告、令和2年9月18日(金)に区長表敬訪問 アンテロープス祝電、多くのスポーツ事業が中止となったため実績なし	区内に拠点を置くスポーツ団体等からの申出により、区長表敬訪問を実施した。HP等で公開したことにより区民への競技周知や、団体・競技者のモチベーションアップの一助となっている。	区立小・中学校やスポーツ関連団体への周知を行い、区ゆかりのアスリートとして応援できるような関係性を構築したい。	区ゆかりのスポーツ関係者のリストを作成する。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	2 人						
							申込数	—						
【基本的な方向性(2)】 多様なニーズに対応するプログラムの提供														
18	32		アウトドアスポーツ事業	親子や参加者同士の交流を深めるとともに、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動を推進するため、東京近郊での軽登山やノルディックウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施する。	予算	1,103	当初予定数(定員等)	実績のとおり	—	・ファミリーハイキング教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止 ・ふんきょうウォーキング教室 日程:11月3日(祝・火) 場所:小石川運動場⇒本郷⇒総合体育館⇒湯島⇒上野公園⇒台東区⇒浅草寺 定員:70人 参加人数:81人 応募数:217人	新型コロナウイルス感染症の対策を実施することにより、事業が実施できた。	ハイキング教室については、新型コロナウイルス感染症への対策を行い、実現可能な形での実施方法を検討する。 また、ウォーキング教室は募集人数を大幅に超える応募があった為、区民のニーズに応えられるよう、機会充足なども視野に入れる。	委託先であるスポーツ推進委員との協議を重ね、種目変更も視野に入れ検討していく。	スポーツ振興課
					決算	447	実績数	実績のとおり						
							申込数	実績のとおり						
19	32		ジュニア・アスリート育成事業	区内大学及びプロスポーツ団体等との協働により、ジュニア選手を発掘、育成、強化し、スポーツ活動を通じて、心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図る。	予算	383	当初予定数(定員等)	—	—	休止のため実績なし	—	コロナ禍において、ジュニア選手の発掘、育成、強化の一連のサイクルを継続実施することが困難である。	単体ではあるが、区内大学及びプロスポーツ団体等との協働事業として、競技者の裾野拡大や競技力向上のための教室や体験の機会を設けていく。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—						
							申込数	—						

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
					予算	—	当初予定数(定員等)	—							—
20	32		シニア向けスポーツ教室	高齢者にスポーツの機会を提供するため、水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	60歳以上の方を対象として、高齢者水泳教室+健康体操教室、シニア健康体操教室及び高齢者水中ウォーキング教室を実施した。	新型コロナウイルス感染症防止対策により、全コース実施出来た教室はなく、参加者数も前年に比べ大きく減少した。	感染症防止対策をさらに徹底し、安心して参加することができる教室を提供する。教室内容については、全て定員を満たすため、現状維持。	スポーツ振興課	
					決算	—	実績数	715人	—						
							申込数	715人	—						
21	32		着衣泳講習会	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶため、着衣泳教室を実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	30人	—	—	令和2年度は18人参加した。また、例年7月のプール水抜き前に実施するが、令和2年度は水抜きが12月実施となった。	プール水抜き前の実施のため、限られた開催となる。	プールの水入替前にのみ実施することができる事業であるため、開催頻度等についても現状を維持する。	スポーツ振興課	
					決算	—	実績数	18人	60.0%						
							申込数	18人	60.0%						
【基本的な方向性(3)】 スポーツをともに楽しむ意識の醸成															
22	33		スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進し、スポーツ・レクリエーション活動を行う団体を育成する。	予算	435	当初予定数(定員等)	—	—	—	○派遣件数:22単位 ・スポーツ推進委員:3単位 ・スポーツリーダー:19単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位まで(1単位2~3時間)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、申請数は減少した。	申請の少ない種目の派遣増加につなげる為、周知の仕方を検討するとともに、新種目の増設も視野に入れる。	HP・SNSなど、有効的な周知方法を検討する。	スポーツ振興課
					決算	66	実績数	22単位	—						
							申込数	22単位	—						
【基本的な方向性(4)】 障害者スポーツの普及振興															
23	34		スポ・レクひろば	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通して、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供する。	予算	793	当初予定数(定員等)	8回	—	—	(1)スポ・レクひろば 実施回数:2回(年7回予定) 定員:各回20人(新型コロナウイルス感染症) 参加人数:9/20(日)16人 10/18(日)18人 場所:文京総合体育館 内容:体操、フラフープを使ったリレー等 (2)4区合同レクリエーション大会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	実施回数は少なかったが、参加者が興味を持ち楽しく取組めるプログラムの工夫や運営を行うことができた。そのため、参加者からは、毎回のように、実施を期待する声が寄せられている。	新型コロナウイルス感染症により、継続的な活動ができなかったため、スポーツを通じた仲間づくり及び社会参加の促進、スポーツのきっかけづくりに十分に繋げることができなかった。	活動を支えるスタッフの維持及び獲得に努め、知的障害者が安全安心にスポーツに親しめる環境を整えていく。	スポーツ振興課
					決算	451	実績数	2回	25.0%						
							申込数	—	—						
24	34		障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行う。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	令和2年度は軽体操・トレーニング8回、水泳3回実施した。	令和2年度は延べ69名の参加があった。	新型コロナウイルス感染症防止対策により、計7回実施できなかった。しかし、全体の実施回数が増加した事と、利用者への認知度が上がったことにより、昨年度に比べ、延べ参加者は21名増加した。	障害のある方を対象とした事業のため、より徹底した感染症防止対策を実施する。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	69人	—						
							申込数	—	—						
25	34		障害者スポーツ体験教室	障害の有無に関わらず、スポーツを楽しむ機会を確保するため、様々な障害者スポーツを「する」「観る」事業を実施する。	予算	1,384	当初予定数(定員等)	—	—	—	コロナのため実績なし	—	障害者スポーツ関係団体等と連携し、障害の有無に関わらず一緒にスポーツに親しむ機会の充実を図り、障害者スポーツの振興及び障害者スポーツを通じた障害への気づきや理解を育むことが必要である。	区域内外の障害者スポーツ関係団体に積極的に連携を図り、コロナ禍でも講師及び参加者が安全安心に取組める事業を模索し、企画・実施する。	スポーツ振興課
					決算	99	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
26	34		障害者スポーツ指導員資格取得の支援	障害者スポーツを「支える」人材を育成し、障害者スポーツの普及振興を図るため、スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行う。	予算	—	当初予定数(定員等)	各区10人程度	—	—	・初級障害者スポーツ指導員養成講習会 A日程:2/20(土)・2/27(土)・3/6(土)・3/13(土) B日程:2/20(土)・2/28(日)・3/6(土)・3/13(土) 会場:北区赤羽文化センター 対象:区内在住・在学・在勤で18歳以上の障害者スポーツに関心があり、今後かわっていきたく考えている方	第2ブロック持ち回りの講習で、令和2年度は北区が幹事区。東京都障害者スポーツ協会後援のもと、障害者及び障害者スポーツへの理解を深める講座を実施。コロナ禍の中、多くの参加者が障害者スポーツの参画・支援等への想いの強さを感じた。	広報スケジュールの共有や、効率的な広報に努め、多くの方の事業参加に繋げる。	幹事区ほか、区内団体等とも連携を密にする。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	32人	—						
							申込数	32人	—						

令和3年度 事業調査結果A スポーツ分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標3】 スポーツ活動を支える環境の整備

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備														
27	35	135	スポーツ施設の整備と活用促進	区立スポーツ施設の快適な環境への整備をはじめ、区立学校施設等の活用による、スポーツ活動の場の整備を進めていく。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	令和3年2月より、六義公園運動場にて毎週火曜日の休場日を利用し、ボール開放を目的とした一般開放を開始した。	2月、3月に計8日間実施し、265名が参加した。	—	—	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	—						
							申込数	—						
28		135	六義公園運動場管理棟等の改築	六義公園運動場の老朽化した管理事務所を、施設全体でバリアフリー化を図り、ミーティングルーム、更衣室やだれでもトイレが整備された、だれもが安全で快適なスポーツを楽しむことができる管理事務所棟に改築する。	予算	14,105	当初予定数(定員等)	—	—	4月～5月:工事自粛期間 4月～12月:埋蔵文化財調査整理 5月～12月:新管理棟建築工事 12月:新管理棟引き渡し 1月:完了検査	新型コロナウイルス感染症の影響により、工期が延期となったが、令和3年1月29日に竣工し、運用開始した。	—	—	スポーツ振興課
					決算	12,838	実績数	—						
							申込数	—						
29		135	小石川運動場ベンチシート等整備	多くのスポーツ団体による大会等や関東サッカーリーグの公式戦も行われ、多くの利用者が訪れる小石川運動場について、施設の利便性・安全性の向上を図るため、ベンチシートを整備する。	予算	23,748	当初予定数(定員等)	—	—	11月:施工業者決定 12月:基礎工事 1月:緑化工事 2月:ベンチシート搬入 2月～:芝生養生期間	令和3年2月16日に完了検査を経て、完成し、スポーツ振興課事業や区民大会等で使用予定。	—	—	スポーツ振興課
					決算	23,748	実績数	—						
							申込数	—						
30			まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設(六義公園運動場及び後楽公園少年野球場)を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供する。 1 あおぞらすすく広場 →施設の無料開放。(個人向け、園庭のない保育園等向け) 2 親子すすく教室 →未就学児とその保護者向けのスポーツ教室 3 園児すすくプログラム →園庭のない保育園等を対象として、後楽公園少年野球場にてスポーツプログラムを実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	1 あおぞらすすく広場 定員:なし 年間延べ実施日数:47日 年間延べ参加人数1,908人 2 親子すすく教室 定員:1期あたり20組40名、全4期 年間延べ実施日数:17日 年間延べ参加人数:272人 ※第1期は新型コロナウイルス感染症防止対策により全日中止 3 園児すすくプログラム 定員:1園20～30名程度 年間延べ実施回数:17回 年間延べ参加人数:397人 ※4月～6月実施予定日は新型コロナウイルス感染症防止対策により中止	屋外運動場の比較的予約の入らないコマを利用し、未就学児の外遊びの機会を提供することができた。新型コロナウイルス感染防止対策により、中止となった日程が多かった。	あおぞらすすく広場は、参加者が特定の保育園児が多くなっている。また、夏季は熱中症予防の観点から、実施することができていない。	区報、HP、SNS等を有効に活用するほか、チラシにより広報活動する。夏季の実施については、屋内施設の空いている時間帯の利用を検討する。また、新型コロナウイルス感染症防止対策をより徹底し、未就学児童が安心して外遊びをする機会を提供する。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	—						
							申込数	—						
31	20		学校施設の活用	区立小・中学校の屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放する。(余裕教室の社会教育的利用、夜間管理の分離)	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	令和2年度実績 小学校 2,405件 中学校 2,026件	例年、小・中学校合わせて1万件前後の利用があり、地域住民の身近なスポーツ・生涯学習の活動の場として定着している。令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により、実績数が減となっている。	学校ごとの利用申込みのため、利用のしやすさが課題である。	施設予約システム導入に向け検討する。	スポーツ振興課/学務課
					決算	0	実績数	4,431 件						
							申込数	—						
32	31		スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放する。 夏季には昭和小及び音羽中でプール一般開放を実施、その他育成会等の申請によりプール団体開放を実施する。	予算	12,684	当初予定数(定員等)	—	—	スポーツ交流ひろば:区立小・中学校18校にて実施した。 学校プール一般開放:昭和小学校及び音羽中学校で実施した。 学校プール団体開放:3校で実施した(1校は申請があったが、低温のため中止した)。	スポーツ交流ひろば:延べ547日実施、延べ10,090人参加した。	指導員及び運営委員会の高齢化と、後継者不足が懸念されている。また、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施することによる、指導員への負担が増加している。	2年に一度の委嘱の際に、指導員や運営委員会に後継者の推薦を依頼する。また、指導員に負担の無いような新型コロナウイルス感染症防止対策を模索する。	スポーツ振興課
					決算	6,192	実績数	10,090 人						
							申込数	—						

整理No.	頁	総合戦略 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者 満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(2)】 スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化															
33	36		スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	33人	—	—	○スポーツ推進委員会委託事業 ①ファミリーハイキング教室(中止) ②文京スキー教室(中止) ③ニュースポーツ教室、大会(入試) ④ウォーキング教室(11月3日実施:参加人数81名)	①～③は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止した。一方、④は屋外であるため、十分な感染防止対策のもと実施し、多くの参加者を得た。	感染症拡大下でも実現可能な事業・種目を検討する考えとともに、ウォーキング教室に関してはニーズに応じた展開を検討する。	委託先であるスポーツ推進委員会と継続的に協議する。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	81人	245%						
							申込数	81人	245%						
34	36		スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	スポーツ推進委員やスポーツリーダー等を委嘱する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	—	—	4月:各スポーツ推進委員、スポーツリーダーに委嘱状を送付(委嘱状は新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止)	経験豊富なスポーツ推進委員とスポーツリーダーが引き続き委嘱され、新任も加わったことで、幅広いスポーツ振興が見込まれる。	平成30年度からスポーツ推進委員も定員が充足していない。	推薦依頼団体に対する、より積極的な働きかけと、依頼団体の拡充を検討する。	スポーツ振興課
					決算	—	実績数	56人	—						
							申込数	58人	—						
35	36		スポーツ指導者の育成	スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施する。	予算	78	当初予定数 (定員等)	—	—	—	・上級救命講習(中止) ・ウォーキング講習(中止)	—	コロナ禍での運営や、多くの方に参加いただける仕組みを検討する必要がある。	講師や内容の充実を図るとともに、年間を通しての展望を見据える。	スポーツ振興課
					決算	11	実績数	212人	—						
							申込数	—	—						
36	36		スポーツ指導者派遣	自主的なスポーツ活動を行う区民の団体等へスポーツ指導者を派遣し、スポーツの競技力を向上させる。	予算	435	当初予定数 (定員等)	—	—	—	○派遣件数:22単位 ・スポーツ推進委員:3単位 ・スポーツリーダー:19単位 ※派遣回数:1団体につき年間で4単位まで(1単位2～3時間)	多くの事業が中止となるなか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、申請数は減少したものの、実施ができた。	実績の少ない種目の派遣増加を図るため、周知の仕方を検討するとともに、現在、種目の改廃と新種目の増設も視野に入れる。	SNSの定期的な発信やCATVへ活用、社教団体への通知など、有効な周知方法を検討する。	スポーツ振興課
					決算	66	実績数	22単位	—						
							申込数	22単位	—						
【基本的な方向性(3)】 スポーツボランティア等の活動支援															
37	37	134	スポーツボランティアの養成	「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録、養成、派遣する。	予算	52	当初予定数 (定員等)	—	—	—	ブラインド体験講座(中止)	—	コロナ禍での運営や、多くの方に参加いただける仕組みを検討する必要がある。	講師や内容の充実を図るとともに、年間を通しての展望を見据える。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
38	37		スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア登録者が、より多くの情報に触れ、様々な活動の機会を得るため、スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信する。	予算	799	当初予定数 (定員等)	—	—	—	コロナによる事業地球氏に伴い、中止。 スポーツボランティア登録者及び区内各施設への「スポーツボランティアガイドブック」の配付等 令和2年度はガイドブック未発行	—	安全なボランティア従事の確保とギブアンドテイクの活性の両立を図る必要がある。	更なる周知対象の拡大と定期的な情報発信を行う。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						

整理No.	頁	総合戦略 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者 満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
【基本的な方向性(4)】 スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備															
39	37		スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ交流ひろばの指導員に向け、スポーツ振興に関する情報等を発信する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	—	—	毎月1回、計12回発行した。	指導員への連絡事項やスポーツ振興に関する情報を、定期的に発信できた。	通知や調査が多い月は、返信を忘れてしまう指導員が多く、問合せも増加する。	調査事項の分散や、実施月の見直しを検討する。	スポーツ 振興課
					決算	—	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
40	37		地域スポーツ情報の提供	地域スポーツを普及・振興するため、区のスポーツ事業や地域スポーツ団体についての情報を発信する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	—	—	事業実施時、事業の様子などをホームページやフェイスブックで公開した。	区が関与している事業を周知することにより、身近な場所で行われているスポーツ事業の情報が提供できた。	周知する情報を、より区民の目に触れやすくしていく必要がある。	事業に応じて、SNS等の効果的な広報ツールを組み合わせ、区民周知を図っていく。	スポーツ 振興課
					決算	—	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
41	37		各種メディアとの連携推進	区の魅力的なスポーツ事業等の取り組みを報道機関等をはじめ各種メディアにリリースし、広く内外へ発信する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	—	—	事業の中止により未実施	—	—	—	スポーツ 振興課
					決算	—	実績数	—	—						
							申込数	—	—						

令和3年度 事業調査結果A スポーツ分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標4】 スポーツを通じた仲間づくりと交流

整理No.	頁	総合戦略 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満 足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
【基本的な方向性(1)】 スポーツを通じた仲間づくり													
42 (再掲)	21		社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行うことで、その活動を支援する。	予算	0	当初予定数 (定員等)	—	登録団体数 888団体 (内訳) 生涯学習 479団体 スポーツ 409団体	登録団体名簿の関連施設への配架、ホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながった。	更新作業が3年ごとのため、申請時と実態が異なる団体が見受けられる。	団体の活動内容を正確に把握するため、毎年の活動実績報告を求めるとともに、区民への周知を図っていく。	アカデミー推進課/スポーツ振興課
					決算	0	実績数	888 団体					
							申込数	—					
43 (再掲)	31		スポーツ交流ひろばの充実	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放する。夏季には昭和小及び音羽中でプール一般開放を実施、その他育成会等の申請によりプール団体開放を実施する。	予算	12,684	当初予定数 (定員等)	—	スポーツ交流ひろば:区立小・中学校18校にて実施した。 学校プール一般開放:昭和小学校及び音羽中学校で実施した。 学校プール団体開放:3校で実施した(1校は申請があったが、低温のため中止した)。	スポーツ交流ひろば:延べ547日実施、延べ10,090人参加した。	指導員及び運営委員会の高齢化と、後継者不足が懸念されている。また、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施することによる、指導員への負担が増加している。	2年に一度の委嘱の際に、指導員や運営委員会に後継者の推薦を依頼する。また、指導員に負担の無いような新型コロナウイルス感染症防止対策を模索する。	スポーツ振興課
					決算	6,192	実績数	10,090 人					
							申込数	—					
44 (再掲)	37	134	スポーツボランティアの養成	「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録、養成、派遣する。	予算	52	当初予定数 (定員等)	—	ブラインド体験講座(中止)	—	コロナ禍での運営や、多くの方に参加いただける仕組みを検討する必要がある。	0	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—					
							申込数	—					
【基本的な方向性(2)】 スポーツを通じた交流													
45	39		カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	姉妹都市提携のカイザースラウテルン市(ドイツ)が2006年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、少年サッカー大会を実施している。	予算	1,480	当初予定数 (定員等)	—	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業直前に中止) ・中学生大会(TOKYO UNITED CUP) 1月31日(日)、2月6日(土)・11日(木祝)・13日(土)・20日(土)・27日(土) 参加チーム6チーム※別途区外招聘チーム2チーム ・小学生大会(文京区カイザースラウテルン市長杯) ①1年生の部・2年生の部 12月6日(日)・13日(日)・20日(日)参加チーム:1年生 8チーム、2年生 10チーム ②3年生の部・5年生の部 令和3年1月10日(日)・11日(月祝)・17日(日) 参加チーム:3年生 9チーム、5年生 5チーム ③4年生の部・6年生の部 令和3年2月14日(日)・23日(火祝)・28日(日) 参加チーム:4年生 10チーム、6年生 6チーム	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし	コロナ禍での区民大会の開催方法を検討する必要がある。	引き続き、文京区少年サッカー連盟・東京ユナイテッドFCと連携し、大会規模を縮小する等、開催方法を模索していく。	スポーツ振興課
					決算	266	実績数	—					
							申込数	—					
46 (再掲)	28		親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子で気軽に参加することができるスポーツ教室を開催する。	予算	437	当初予定数 (定員等)	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし	—	コロナ禍における安全な事業の実施方法を検討する必要がある。	委託先である団体と協議を重ね、参加者が安全安心して取組める方法を模索する。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—					
							申込数	—					
47	39		ニュースポーツ教室・大会	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるニュースポーツを普及するため、ドッチビーやポッチャ等の教室や大会を実施する。	予算	409	当初予定数 (定員等)	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし	—	コロナ禍において、参加者及び運営側が安全安心に取組める種目と運営方法を検討する必要がある。	委託先である団体と協議を重ね、コロナ禍における事業のあり方の検討を進める。	スポーツ振興課
					決算	0	実績数	—					
							申込数	—					